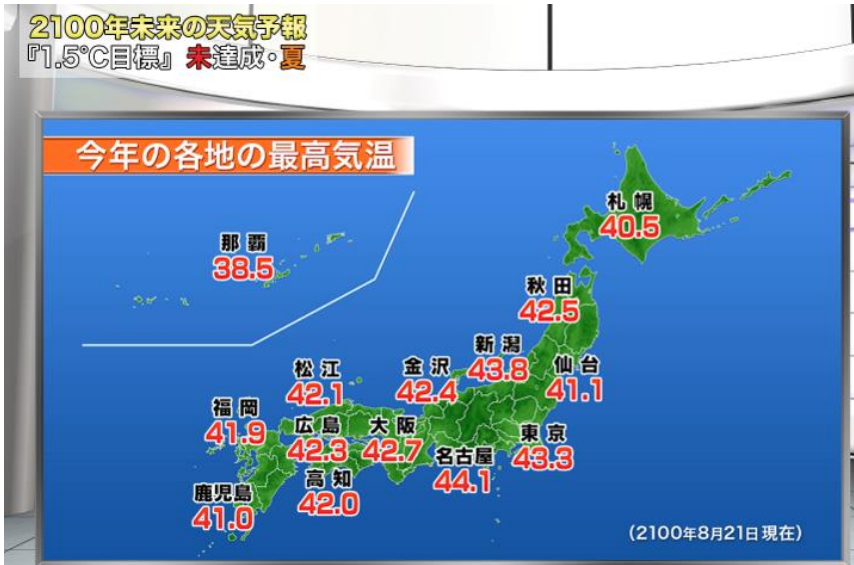


大規模焼却炉  
は必要ナシ！

# 300 億円超の施設ノー CO<sub>2</sub> 削減まったなし



2100 年の天気予報＝気象庁 URL より

## 新町長の来年度予算は？

・・・3 月定例会はじまる・・・

寺本町政が 2 月からスタートし、令和 6 年度予算は「初予算」となります。21 日の議会運営委員会で決定した定例会の主な日程は次の通りです。

- ☆4 日(月)：全員協議会＝議案説明他
  - ☆6 日(水)：本会議＝開会、提案など
  - ☆11 日(月)：予算決算委＝令和 6 年度予算審議 (13 日も予算審議継続)
  - ☆15 日(金) 委員会＝付託案件審議
- ※上記は全て 9：00 開会

## 甲 良 民 報

2024年2月25日 907号  
発行責任：日本共産党甲良町支部  
連絡：甲良町在士 373 (西澤)  
Tel：38-4949 Fax：38-2242

## 新ごみ処理施設 整備計画とは

甲良町を含む 1 市 4 町で構成する行政組合で「ごみ処理広域化」を進め、当初は大型焼却施設を 100 億円で建設すると計画。ところが現在では 300 億円超と予測される。CO<sub>2</sub> 削減と各市町の財政負担軽減から「好気性発酵乾燥方式」の実現可能性の追加検証が今年 9 月まで実施。新施設の稼働は、今着手した場合でも 2030 年と見込まれている。

2 月 22 日彦根愛知犬上広域行政組合議会の 2 月定例会で、令和 5 年度の補正予算が審議され、従来の焼却方式に係る費用を未執行とする内容であったことから、党議員 4 人を代表して西澤議員が賛成討論をおこないました。その討論の要約・概要を紹介します。

### 大量焼却方式に 後戻りしない決意を

私は、ごみ問題と言われるごみの発生・処理を含めて根本的に見直しをしなければならぬ時期にきており、それも、待ったなしの課題だと思っています。この問題においては徳島県上勝町の元町長・笠松和市さんから大事な助言をいただきました。

当圏域から排出されるごみ量は全世界の中で、また日本国内で数値では表せないくらい、ごく微量かも知れません。しかし、その小さな小さな取り組みの積み重ねが、気候変動危機に対応する流れを形成するものだと思います。

先日 2 月 20 日群馬県伊勢崎市では 25 度を超える夏日となり、世界各地で極端な気候変動に翻弄されています。環境省はホームページにて 2100 年末の天気予報が動画で紹介しています。2100 年 8 月 21 日の札幌の気温は 40・5 度、秋田は 42・5 度、名古屋は 44・1 度などの予報が掲載 (左図参照) されています。

「ごみゼロ・資源化めざすべき」  
この広域ごみ処理施設計画が予定通り実施できたとしても完成年度は、当局も約 10 年後の令和 16 年から 17 年度後半と予測されています。その令和 17 年度から稼働して 30 年すると人口減少し、ごみも減少し、「地球沸騰時代」の極端な気候などで経済・社会情勢が激変します。温暖化防止のためには、CO<sub>2</sub> を 2030 年 46% 削減、2050 年に CO<sub>2</sub> ゼロ、ごみの資源化を目指すべきだと笠松氏は訴えておられます。

福岡県大木町では、生ごみと尿尿を混合し発酵させ、メタンガス発電、液肥を農地に還元する、紙おむつを民間施設で建設資材に加工する分別資源化など、早くから取り組んでおられると聞きます。下水道汚泥と生ごみを発酵させメタンガスを発生させ、発電に活用している取り組みが国交省の推奨事業で既に豊橋市など 8 カ所に広がっています。ゴミゼロをめざし、環境負荷をこれ以上増やさない取り組みを求めています。

ご相談・ご要望をどうぞ。 ☆くらし・税金・教育などの相談は 西澤伸明 38 - 4949  
©日本共産党の見解を紹介します。メール shigakoura.jcp@ares.eonet.ne.jp ホームページもご覧ください【「西澤伸明」で検索】